

## Topic 生活を豊かにする情報を公開中「LINK UP TOYO」

「LINK UP TOYO」は東洋大学と読者の“知りたい”をつなぐWebサイトです。

在学生や卒業生の活躍、本学教員による日常の生活・暮らしに役立つ情報から仕事に生きるヒントなど、皆様の人生を彩り、豊かにするさまざまなコンテンツを配信しています。



### ▼ What's New

**BUSINESS** AI普及で雇用はどうなる？  
専門家に聞いた、なくなる仕事・増える仕事  
経済学部総合政策学科 小林和馬助教授

**LIFE** 放っておくと怖い「睡眠負債」。寝不足がもたらす心身への影響と対処法を大学教授に聞いた  
社会学部社会心理学科 松田英子教授

**ART** 書評家・豊崎由美が語る、本の楽しみ方。  
「本は想像力を培うもの」  
書評家 豊崎由美さん 1984年 文学部印度哲学科(現・東洋思想文化学科)卒業

**LIFE** 家庭でできる「自然災害への備え」とは？  
＜防災の専門家に聞く＞  
国際学部国際地域学科 松丸亮教授



### 大学生活に役立つ情報が満載 学報バックナンバー

学報のバックナンバーは、  
公式Webサイトでご覧いただけます。



<https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/about/gakuhou/>

### TOYO UNIVERSITY NEWS -English Edition-

The English edition of TOYO UNIVERSITY NEWS is available  
on the University's official website.  
To read the English edition, access the web page below.



<https://www.toyo.ac.jp/en/about/gakuhou/>

### 東洋大学教育・研究協力資金 ご支援のお願い

東洋大学では、日本および世界の将来を見据え、先進的な知的拠点の確立を目指すとともに、国際社会で活躍できる人材育成に取り組んでおります。そこで、本学の教育・研究協力資金のご支援をお願いするための情報発信を行うWebサイトを公開しています。  
詳細は右記URLからご覧ください。 <https://kifu.toyo.ac.jp/>



### 2020年度秋学期の授業について

9月18日(金)から開始される秋学期においては、春学期に実施している非対面授業の方法を継続しつつも、一部の科目については、十分な感染防止対策を行いながら対面授業を導入する予定で準備を進めています。状況の変化に応じて、開講形態を変更する可能性がありますので、大学公式WebサイトやToyoNet-G(オンラインの授業支援システム)を定期的にご確認くださいようお願い申し上げます。

### 秋学期分学費振込用紙の発送について

秋学期分の学費振込用紙については、10月中旬発送(修学支援制度適用者は10月末)を予定しています。

発行日/2020年9月7日  
発行/東洋大学  
編集/総務部広報課  
〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20  
TEL 03-3945-7571  
URL <https://www.toyo.ac.jp> E-mail [mlkoho@toyo.jp](mailto:mlkoho@toyo.jp)

次号の発行予定は、2020年12月です。(英語版はWebサイトで公開予定)

# TOYO UNIVERSITY NEWS

東洋大学報

Sep. 2020  
No.259

## 新型コロナウイルス感染症対策 東洋大学レポート

### 今こそ学ぼうSDGs





白山キャンパス



板倉キャンパス



朝霞キャンパス



赤羽台キャンパス



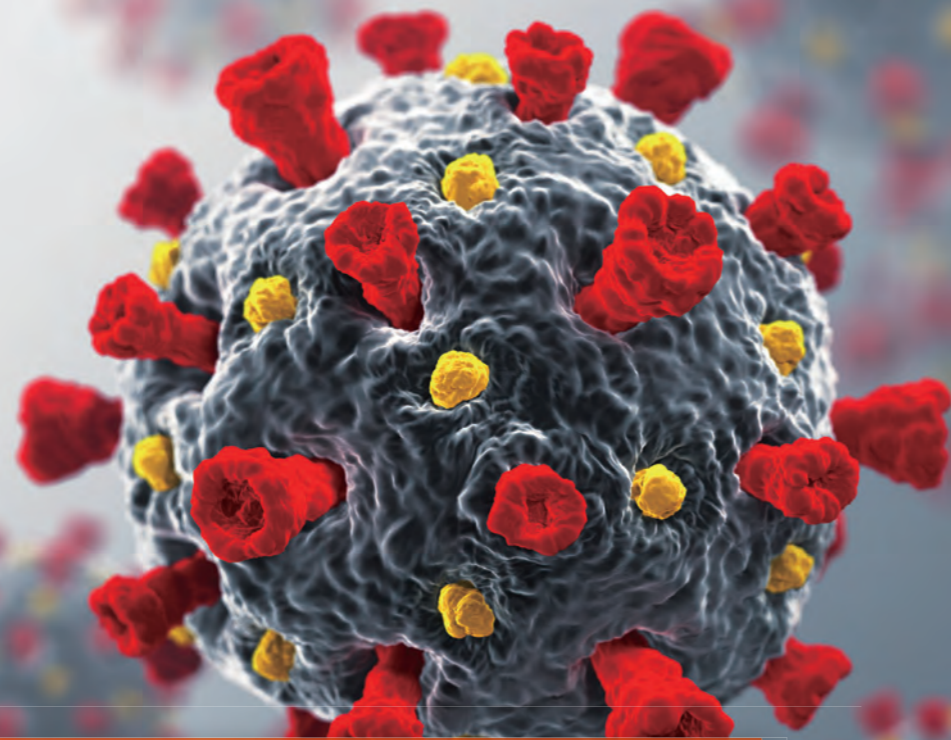
川越キャンパス

新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止のため、全キャンパスにて入構禁止措置を行った  
撮影：2020年6月

## CONTENTS

表紙の写真：新型コロナウイルス感染症予防対策のため、キャンパス入り口にて全学生・全教職員を対象に、検温・健康状態の確認を実施（写真：白山キャンパス8号館／7月2日撮影）

- |                                                               |                                                                                                |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>04 <b>新型コロナウイルス感染症対策</b><br/><b>東洋大学レポート</b></p>           | <p>12 <b>Progress</b> 未来へはばたく在学生<br/>生命科学研究科 生命科学専攻<br/>博士前期課程1年(環境工学研究室)<br/>ファン クアン フイさん</p> |
| <p>08 <b>今こそ学ぼうSDGs</b></p>                                   | <p>14 <b>創業者 井上円了の魅力</b><br/>脈々と受け継がれるそのマインド</p>                                               |
| <p>10 <b>Professor's Scoop</b><br/>社会学部 社会学科 教授<br/>米原 あき</p> | <p>16 <b>Alumni Report</b><br/>落語家<br/>三遊亭 鬼丸さん</p>                                            |
|                                                               | <p>18 <b>NEWS・INFORMATION</b></p>                                                              |



# 新型コロナウイルス感染症対策 東洋大学レポート

## 世界中を震撼させる 脅威の新型コロナウイルス

2019年12月に中国・武漢市で報告された原因不明の肺炎は「COVID-19」（新型コロナウイルス感染症）と名付けられ、世界中に拡散し、今なお甚大な被害をもたらしています。日本では今年3月下旬以降の感染者急増を受け、4月に政府が全国を対象に緊急事態宣言を発出。感染予防の徹底を国民に呼びかけました。

国内で初めて大きな問題となったのが、今年2月に横浜港に停泊したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」での集団感染発生。海上での検疫をはじめ、陽性者を国内の医療機関に搬送する入院措置がとられました。2月下旬になると、それまで感染の中心だった中国本土だけでなく、韓国やイタリアなどでも感染者が急増。さらにはアメリカやヨーロッパ各国と、続々と世界中に感染が拡大していきました。

その後、国内では今夏開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックの延期や全世界への布マスクの配布、一人当たり10万円の現金給付などさまざまな政策が取られてきました。4月7日に7都府県を対象に発出された緊急事態宣言下では、人と人との接触を最低7割、極力8割減らす目標を掲げ、国民に外出自粛などの徹底を喚起。さらに同月16日には緊急事態宣言の対象を全国に拡大しました。5月25日に緊急事態宣言は解除されたものの、現在も感染者は増減を繰り返しており、継続的な「3密」の回避やリモート環境を活用した取り組みなど、「新しい生活様式」の実践が続いています。

From Professor



加藤 和則 教授 理工学部 生体医工学科  
薬学博士。専門は免疫学、バイオ創薬学

- 無症状でもウイルス量は多い
- 生活習慣の乱れで免疫は低下
- 食生活の乱れで発症する危険

年代や症状に関係なく新型コロナウイルスは私たちに感染し、体の中で短時間で同じように増えていきます。ただし若年者と高齢者では、ウイルスを排除する免疫の力の強さと質が大きく違うために、症状の差が出てしまいます。この免疫の力は加齢に伴い減少しますが、若年者でも生活習慣や食生活の乱れで免疫の質が低下するので、油断せずに、規則正しい生活習慣を心がけましょう。

## 東洋大学の主な動き

1月	24日	● 新型コロナウイルス感染症への注意喚起を公式Webサイトへ掲載（第1報、以降随時更新）
	3日	● 学長を委員長とする新型コロナウイルス感染症緊急対策委員会を発足
2月	5日	● 学生・教職員に注意喚起とウイルス感染時の対応について通知
		● 学位授与式・卒業式の中止を決定
	27日	● 学生・教職員向け「行動指針」を発表（第1報、以降随時更新） ● 本学主催の会議・イベント等、学生の課外活動の中止を決定
3月	6日	● 入学式の中止を決定
	13日	● 新学期の授業開始を4/6から4/20以降に繰り下げを発表
	27日	● 受験生向けイベント「学びLIVE授業体験」をオンラインで実施（6月も同様）
4月	3日	● 春学期の授業開始日および遠隔授業での実施を発表 ● 各キャンパスへの入構制限を発表
	27日	● オンラインによる春学期授業開始 ● 通学課程の全学生を対象とした特別修学支援金（一律5万円、総額約15億円）の給付を発表
5月	18日	● 図書館資料の貸出および学外文献複写の郵送サービスの開始
6月	1日	● 特別修学支援金の給付手続き開始
	26日	● 独自給付型奨学金「新型コロナウイルス感染症対策特別奨学金（RIBBON）」募集開始
7月	1日	● キャンパスでの教育、研究活動、指導等が必要な学生に限定し、段階的入構を許可
	17日	● 受験生向けイベント「OPEN CAMPUS」をオンラインで実施（8月も同様）
	31日	● 父母懇談会をオンラインで実施

## 学生支援の主な取り組み

### 学生と企業の接点となる オンライン企業説明会

本学では他大学に先駆け、全キャンパスの学生を対象としたオンライン企業説明会を3月に開催しました。ご参加いただいた45社のご担当者様、学生双方から好評を博し、6月には4年生対象の2回目の開催に加え、1～3年生対象のインターンシップ企業説明会を実施しました。首都圏を離れて実家で就職活動をしている学生にも利用されるなど、オンラインならではの効果も上がっています。8月にはLIVE配信形式で開催。今後も学生が企業との接点を失うことがないように、オンラインの積極的な活用を目指します。

### 特別修学支援金 5万円給付を実施

2020年4月27日より春学期授業がオンライン形式で開始となりました。学生の皆さんがインターネット学習環境を整備し維持していくために、本学独自の取り組みとして通学課程の全在学学生（学部・大学院）を対象に一律5万円、総額約15億円の特別修学支援金の給付を実施しました。6月1日よりToyoNet-G（学務システム）上で口座の登録をしていただき、6月19日から順次振り込みにて給付を行いました。

### 専門相談員による Web就職相談

個々の事情が異なる就職活動において、専門相談員による個別の就職相談を重視しています。新型コロナウイルスの影響で大学の入構制限が実施されたことにより、対面での就職相談は困難となりましたが、Web上で学生のサポートを継続しています。必要に応じて担当相談員を増員するなど、これまでに全学5,000件以上の相談を実施。企業も面接などの選考をWeb化しているなかで、利用した多くの学生からは、「Webでの就職相談を通じ、企業のWeb面接にも慣れることができた」という声も上がっています。

### 経済支援を目的とした本学独自の 2つの給付型奨学金を実施

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、家計急変により学業の継続が困難となった学部生のために、校友会・浦水会（保護者）・学校法人役員・教職員をはじめとする皆さまからの寄付を原資とした、東洋大学コロナ対策特別奨学金「RIBBON」を6月に設立し、募集を行いました。また学業成績・人物ともに優良であり経済的困窮度が高い学部生に対する支援として、東洋大学第2種奨学金（経済的修学困難者奨学金）の本年度の募集を7月に実施しました。

### 就職活動支援行事のオンライン化 による継続的なサポート

最新の就職活動に関する情報ならびに準備のための講座をオンラインで継続配信しています。4年生を対象とした「急増するWeb面接の突破方法」を4月に配信、6月には就職活動に不安を抱えている学生を対象に「Web相談＆質問会（なんでも相談会）」を企画するなど、春学期を通してさまざまな講座を実施しました。1・2年生向けにキャリア理解に繋がる動画を配信。3年生向けには毎週月曜にインターンシップ対策講座を配信するなど、「今できること」を行動に移せるよう支援を継続しています。

### 安心して学生生活を送るための 相談窓口

コロナ禍で生活環境が大きく変わり、慣れないことや戸惑いもあるかと思います。学生サポート室／学生相談室では、皆さんが抱える不安や悩みごとの相談を電話、メール、Webex等で受け付けています。ここからだの健康について相談したい、一人暮らしで誰かに話を聞いてもらいたいという場合は、24時間電話健康相談サービス「学生ほっとライン 健康・メンタルサポート24」をご利用ください。相談窓口の開室時間や相談方法など最新の情報は、大学公式Webサイトでご確認ください。

Report 1

情報連携学部の学生が学びを活かし社会貢献。  
富山県公認の感染症対策サイトを制作・運営。

2020年4月9日より富山県公式ホームページに県公認の「新型コロナウイルス感染症対策サイト」開設のお知らせが掲載されました。このサイトは情報連携学部情報連携学科3年生の寺田一世さんを中心とした有志が制作・運営するもの。この取り組みについて寺田さんにお話を伺いました。



今回の取り組みは、自分の出身地である富山県に何か貢献できないかと思ったことがきっかけです。サイト制作には、複製・改変が許されたオープンソースライセンスの下で東京都が公開している、東京都新型コロナウイルス感染症対策サイトのプログラムを利用しました。富山県と連携しAPIと呼ばれる情報をやり取りするためのシステムを共同で構築することで、素早く正確な情報公開を可能にしています。

掲載内容は日々更新されていて、富山県が公表するオープンデータを活用し、感染者数や感染者の年代・性別やPCR検査の実施人数などをまとめています。年代別の感染者数や帰国者・接触者相談センターへの相談件数などは、数字を棒グラフ化し、内訳や増減を一目でわかりやすいように工夫しました。これまでに最大で1日約15,000人の方に閲覧していただいています。

自治体の公認サイトとして、外国籍の方や弱視の方、LGBTの方など誰にでも優しい見え方も重視しています。同学部の留学生からも力を借り、英語・中国語などの多言語表記も整備しました。またSNSを活用して積極的に情報発信をしているほか、利用者からの声も可能な限り反映するように取り組んでいます。一例として、県内の薬局から

「高齢者の方向けに紙による情報提供もしてもらえないか？」と相談された際には、印刷用のファイルを別途制作し、公開するなど柔軟に運営しています。

一連の過程はスキルの成長にも繋がりましたし、正しい情報を提供しなければならないという使命感を持ち行動する貴重な経験にもなりました。その結果として、自分の行動が社会に役立ったことを嬉しく思います。新型コロナウイルスの全国的な広がりの中、「シビックテック」と呼ばれる市民自身がテクノロジーを活用して行政サービスの問題や社会課題を解決する取り組みが活発になってきていると感じています。今後も、行政や企業などが保有するデータを積極的に活用しイノベーションを推進する活動に挑戦していきたいです。



寺田 一世さん  
情報連携学部 情報連携学科 エンジニアリングコース 3年

Report 2

コロナ禍だけで終わらせてはいけない、  
オンライン講義が広げる教育の幅。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、春学期の授業が原則オンライン講義となりました。取り組みが始まって以来、学生たちの反応はさまざまです。オンライン講義に関して、教育のデジタル化を専門とし、2020年6月17日にゼミとして『オンライン講義—コロナの中で考える—』(Kindle版)を出版した経済学部の澁澤健太郎教授にお話を伺いました。



私は高大連携(高校と大学の教育連携)の一環として、オンラインで高校生に向けた講義を10年来担当してきました。その経験から、学生が能動的に参加する学びは、オンライン上でも可能だと考えています。オンライン講義では、さまざまなシステムやツールを活用することにより、学生の反応を素早く受け取り、授業に反映させることで、学生が入り込みやすい授業を行うことが可能です。

今春からのオンライン講義での学生たちからの良い反応のひとつに「理解度の向上」があります。例えば、履修者が200人を超える講義形式の授業では、なかなか手を挙げて質問をするのは難しい。しかしオンライン上では、チャット機能を利用して気軽に質問ができます。疑問を解消することで理解度が増し、レポートの精度が上がった学生も増えたと感じます。また、自分が集中しやすい空間で受講することにより、学習効率の良さを感じている学生も多いのではないのでしょうか。

とはいえ、オンライン講義が万能なわけではありません。授業の形式によっては、会話のテンポ、授業独特の雰囲気や緊張感、アクティブな意見交換が難しいと感じる場面はあります。また、多くの学生がスマートフォンを使用して受講しているため、小さな画面を長時間見続けることになります。さらに、通信環境や学習意欲の個人差もありますし、レポート課題の多用による負担も与えているとも感じます。教員はこうした障壁を考慮しながら、学部・学科ごとに授業の性質や受講人数、内容を鑑みて、学生がより学びやすい授業を組み立てなくてはなりません。

社会がオンライン化する現在、教育現場にもオンライン化が求められています。海外ではすでにオンライン教育が一般的な国もあります。私たち教員は、学生のリアルな要望を把握し改善しながらオンライン講義を日本に根付かせていく役割を担っています。今回の取り組みが、コロナ禍を凌ぐための手段で終わるのではなく、授業の人数や特性によって対面型と併用できるものにならなくてはなりません。学生生活全般とのバランスを見つちも、オンライン講義が日本の教育の新しい一面となるように尽力していきます。



澁澤 健太郎 教授  
経済学部 総合政策学科

SDGs17の目標を達成するためのターゲット例

<p><b>1</b> 貧困をなくそう</p>	<p>(ターゲット1.2) 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。</p> <p>など7ターゲット</p>	<p><b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に</p>	<p>(ターゲット6.1) 2030年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。</p> <p>など8ターゲット</p>	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>(ターゲット11.a) 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。</p> <p>など10ターゲット</p>	<p><b>16</b> 平和と公正をすべての人に</p>	<p>(ターゲット16.1) あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。</p> <p>など12ターゲット</p>
<p><b>2</b> 飢餓をゼロに</p>	<p>(ターゲット2.1) 2030年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。</p> <p>など8ターゲット</p>	<p><b>7</b> エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>(ターゲット7.2) 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。</p> <p>など5ターゲット</p>	<p><b>12</b> つくる責任つかう責任</p>	<p>(ターゲット12.3) 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。</p> <p>など11ターゲット</p>	<p><b>17</b> パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>(ターゲット17.17) さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。</p> <p>など19ターゲット</p>

# 今こそ学ぼう SDGs

最近さまざまな場所やイベントなどで、色とりどりのアイコンを目にする機会が増えたのではないのでしょうか。それは「SDGs」のアイコンかもしれません。SDGsとは何か。なぜ必要か。「私たちができること」をひもといていきます。

## SDGsとは？

●持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のこと  
世界人口の増加による資源不足、気候変動や貧困…。世界はさまざまな課題に直面し、このままでは持続不可能と予測されています。そこで、将来もずっと幸せな社会を実現するために、2015年、国連に加盟する全193カ国が合意をし、「誰一人取り残さない」をキーワードとした持続可能な開発目標 (SDGs) が採択されました。

## ●17の目標と169のターゲット

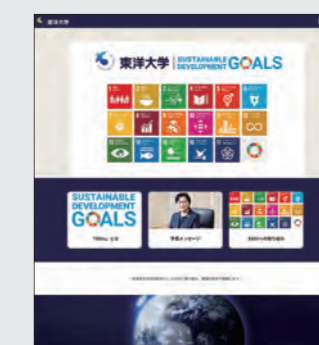
SDGsは、よりよい世界を目指すために2030年までに達成すべき「17の目標」とそれに紐づく「169のターゲット」で構成されています。貧困や教育、ジェンダーや差別といったイメージしやすい社会問題、そして働きがいやまちづくりなど、それぞれに細かい達成目標が定められています。

<p><b>3</b> すべての人に健康と福祉を</p>	<p>(ターゲット3.5) 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。</p> <p>など13ターゲット</p>	<p><b>8</b> 働きがいも経済成長も</p>	<p>(ターゲット8.5) 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>など12ターゲット</p>
<p><b>4</b> 質の高い教育をみんなに</p>	<p>(ターゲット4.4) 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>など10ターゲット</p>	<p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>(ターゲット9.1) 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靱(レジリエント)なインフラを開発する。</p> <p>など8ターゲット</p>
<p><b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>(ターゲット5.1) あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。</p> <p>など9ターゲット</p>	<p><b>10</b> 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>(ターゲット10.3) 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。</p> <p>など10ターゲット</p>

<p><b>13</b> 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>(ターゲット13.3) 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。</p> <p>など5ターゲット</p>
<p><b>14</b> 海の豊かさを守ろう</p>	<p>(ターゲット14.1) 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。</p> <p>など10ターゲット</p>
<p><b>15</b> 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>(ターゲット15.1) 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。</p> <p>など12ターゲット</p>

**Point**  
まずは、世界で何が起きているのかを知り、問題を意識すること。一人ひとりにとっては小さな変化でも、全世界のすべての人が同じ想いのもとで行動すれば、それは大きな変化につながります。皆で、世界を変える一歩を踏み出していきましょう。次のページでは、SDGsを研究している社会学部の米原教授にお話を伺います。

### 東洋大学のSDGsに対する取り組み



本学のSDGsに対する独自の取り組みや活動をまとめた特設サイトがOPENしました。ぜひ、ご覧ください。



東洋大学 SDGs 検索



Toyo University supports the Sustainable Development Goals



# Professor's Scoop

学問の領域は広く深く、日々進化しています。

本学の教育・研究を担う教員の目に、世界はどのように映るのか。

政策評価やSDGsモニタリング評価を研究している社会学部の米原あき教授に、なぜ世界でSDGsの取り組みが広がっているのか、私たちにできることはなにか。一見難しく見えるSDGsについて説明いただきました。

社会学部社会学科 教授

米原 あき

Profile

社会学部社会学科教授。博士(教育学)。インディアナ大学大学院教育学研究科を卒業後、国際開発コンサルタント設計計画研究員、日本学術振興会特別研究員などを経て現職。比較教育政策学、国際協力論、政策評価などが専門。教育政策、人間開発論、SDGsのモニタリング評価などを研究テーマとする。

## 1 世界は「自分たちの問題」に気づき始めた。

SDGsの17つの目標を表すカラフルなアイコンを街中やテレビCMなどで目にする機会が増えてきました。私は開発途上国の教育政策などを研究しており、その流れのなかで国際協力やグローバルゴールにも注目しているのですが、SDGsの広がりは現在、社会に大きな転換をもたらしていると感じています。

元来、戦後から続く国際協力の考え方には「発展途上国を先進国がサポートする」という基礎があり、あくまで貧困や紛争といった問題は途上国だけの問題で、経済的に発展し豊かになれば解決されると考えられていました。しかし、先進国でも経済が発展するほど自殺者・うつ病患者の数が増え、国内の経済格差が広がるといった問題が発生。先進国も皆が幸せな世界になるには、自分たちにも課題があると気づいたのです。

この構造は今のSDGsの状況と似ているかもしれません。SDGsの目標は巨大で抽象度が高い、いわば理念です。私たち個人の日常から見ると「自分には関係ない」「遠い外国の話」と感じてしまう人もいるかもしれません。ですが、SDGsに関わる問題は私たちの日常にいくらかでも転がっています。

## 3 一人ひとりの選択が世界を変える。

多くの企業や団体がSDGsへの取り組みの広報活動をしているように、これからの働き方や生き方にはSDGs的な発想が増えていくでしょう。

例えば、ソーシャルビジネス。以前から企業は寄付やボランティア等を続けていますが、慈善行為は経営状態が悪化すると途絶えてしまいます。一方、社会が抱える問題をビジネスで解決することを目的としたソーシャルビジネスでは、事業として社会貢献を行うため、活動を継続していくことができます。さらに、日本の一部の銀行にはソーシャルファイナンスという考え方も浸透してきました。資本を効率的に増やすことを最大の目的とする投資の世界で、社会を良くする責任も考慮して投資を行うことです。環境破壊や紛争の原因に繋がる事業などには投資をしないと宣言することで社会問題の解決を試みています。

こうした社会の変化により、私たちも日常生活でSDGsを意識した選択が可能になりました。買い物をするお店、お金を預ける銀行、自身の就職先などをSDGsの視点で選ぶということが、最も身近な“私たちにできること”ではないでしょうか。

## 2 必要なのは理念を噛み砕く翻訳力。

SDGs一つひとつの目標を丁寧に見てみると、すべてが私たちの生活レベルに関わっています。ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)では、「unpack(開封)」という考え方を提唱しています。SDGs17目標を開封する。つまり、理念を噛み砕いてそれぞれの文脈にあわせて翻訳しようということです。翻訳の解釈はそれぞれの国次第、さらに言えば地域や個人次第で変わります。例えば、日本において「目標4:質の高い教育をみんなに」を考えるだけでも、過疎化が進む地方の学校と東京23区内の学校では、必要なことも大きく異なるでしょう。国、地域、企業、個人…さまざまな規模でSDGsの目標を「自分ごと」に翻訳する力が必要とされています。

私たち個人においては、スーパーでの買い物だけでも、産地を選んだり、自然環境に配慮された商品を探したり、エコバッグを使ったり…とあらゆることがSDGsに繋がる行動です。だからこそ、私たちの行動や選択がその先の人や企業、国にどのように影響し、SDGsに繋がるのかを知ることがとても大切です。きちんと知らなければ、意識して行動に移せません。

## 4 大切なのは、思考を止めないこと。

私は学生によく“力は知カラ”と伝えています。知ることが“力”になる。SDGsについても、まずは知ることが大切です。そうすれば、世の中にはSDGsに関わることが溢れていると気づくようになると思います。

そのためには、思考を止めないことが大切です。最近ではプラスチックゴミ削減のために、レジ袋が全国一律で有料になりました。一方で、プラスチックの素材や生産で産業が成り立つ地域や企業にどのような影響があったか考えたことはありますか。環境破壊を抑えるために優先してすべきことは、他にもあるかもしれません。物事にはすべてを解決する万能薬はないのです。SDGsもさまざまな分野で、多くの要素が絡み合っているため、一人ですべてを専門的に学ぶのは不可能です。だからこそ1つの考え方を正しいと思わず、いろんな角度で議論が行われることが大切だと思います。

SDGsの活動は今が黎明期。これから社会に出る学生の皆さんには、SDGsの視点で社会課題を見る目を養い、それを伝える役割を担ってほしいと思います。

# Progress

未来へはばたく在学生

東洋大学には学問・研究・スポーツ・ボランティアなど、多彩な領域で活躍する学生がたくさんいます。今回はビジネスコンテストでの銀賞受賞や難関国家試験合格を果たしたファンさんにお話を伺いました。



生命科学研究所 生命科学専攻  
博士前期課程1年(環境工学研究室)

ファン カン פי さん

学生向けビジネスコンテスト  
「freebit biz challenge COMPETE 2019」銀賞  
水質関係第1種 公害防止管理者等国家試験 合格

## 自分自身のルーツから生まれた興味・関心。

ベトナムで生まれた私は、貿易関係の仕事をする両親の都合で来日し、5歳から日本で育ちました。子どもながらにベトナムと日本のインフラ整備の差に驚き、そこから環境学に興味を持ちました。同時に、幼い頃から両親の仕事の間近で見てきたことや、実業家である兄の影響で、ビジネスについても自然と関心を持ちました。

「ベトナム」と「日本」という2つのルーツを持つ自分自身の強みと家庭環境から生まれた興味・関心を活かし、大学4年生の時にビジネスコンテストや「公害防止管理者等国家試験」へ挑戦しました。



## 今、やりたかったことを追求できている。

環境工学研究室で指導教員である角野教授とともに水質改善について研究しています。例えば、母国ベトナムや中国、タイなどを横断するメコン川では浄水施設の開発が進んではいますが、まだまだ十分ではないのが現状です。水質汚染は感染症や食糧問題の原因にもなります。研究室では浄化機器の性能を高めるだけでなく、東南アジアのような地域でも積極的に採用してもらえるように開発コストや運用コストといった実用的な部分にも意識を向けて研究を進めています。

公害防止管理者等国家試験の受験に際して、角野教授に試験対策の指導をしていただき、最も難易度が高い1種を取得することができました。公害防止管理者は、一定の規模の工場などに配置する義務があり、排水の汚染状態などを測定し、管理する業務を担当します。これからの研究にも深く関わることで、将来の選択肢を広げるうえでも、合格できたことはとても嬉しかったですね。



## 幼少期の経験をもとに挑んだビジネスコンテスト。

将来の目標として起業を考えていたところに、兄から腕試しとして勧められたのがビジネスコンテスト『freebit biz challenge COMPETE 2019』への参加でした。そこで私は、言葉の壁から生まれる困り事を抱える外国人と言語スキルを持った外国人とを繋ぐプラットフォーム「CONNECT」を考案しました。

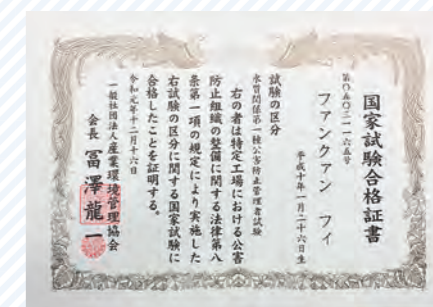
このビジネスモデルに関しては幼少期の経験が深く関わっています。来日後も両親は日本語が話せませんでしたが、私は学生生活の中で自然とベトナム語と日本語を使うバイリンガルになりました。そこで小学生の頃から両親に代わって、役所などの手続きをしていたんです。しかし、子どもには難しい内容が多く、こんなときに助けてくれる人がいれば…と。その後も携帯電話などの契約で同じように日本に来たばかりの知人に助けを求められたこともあり、ビジネスとして成立するのではと考えました。

ビジネスモデル自体は自身の体験をもとに、強く芯があり納得のいくものができたので、興味を高めるプレゼンテーションや、より伝わりやすい資料の見せ方にもこだわりました。コンテストの結果は銀賞でしたが、「ここがゴールではない」と新たな決意が芽生えていました。この結果に満足してしまっただけでは、そこで止まってしまうから。

大学院修了後は企業に就職し、より多くの知識を得て経験を積んで、最終目標として起業することを考えています。将来的には、これまでの研究成果や自分の強みを生かしてベトナムと日本を繋ぐようなビジネスを展開していきたいですね。



ビジネスコンテスト表彰式



公害防止管理者等国家試験合格証書

# 創立者 井上円了 の魅力

## 脈々と受け継がれるそのマインド

東洋大学の創立者 井上円了は、「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の精神を、思索と実践を重ねて生みだしました。その言葉の意味だけでなく、背景にある熱意や学びの姿勢をも、私たちはしっかり受け継がなければなりません。それらは現代においても新たなチャレンジにきっと活かされるはず



## 哲学館を生みだした、「哲学する心」

井上円了は、1858(安政5)年、現在の新潟県長岡市にある慈光寺というお寺に生まれました。仏教という伝統宗教に接しつつ、明治維新という近代日本の夜明けを多感な少年時代に体験します。激変する時代の中、円了は漢学と洋学の双方の学問を熱心に学びました。

その後、京都・東本願寺の給費生として東京で学びます。23歳のとき、設立間もない東京大学文学部哲学科にただ1人の1年生として入学します。大学では「西洋哲学」に興味を引かれる一方で、慣れ親しんだ仏教の教えの中に「東洋哲学」を発見。ますます哲学の研究に打ち込んでいき、ついに「哲学が諸学の基礎である」「哲学の研究・普及が国家・社会の文明を発展させるために不可欠である」との考えを固めます。卒業後は独力で学校開設のために奔走し、1887(明治20)年、円了は29歳という若さで私立哲学館を創立しました。

東洋大学の歴史は、ここから始まったのです。

### 2020年度 学祖祭を挙行

近代日本の新しい教育の扉を開くことに尽力した井上円了は、1919(大正8)年中国・大連での講演中に倒れ、61歳でその生涯を閉じました。102回忌の命日にあたる2020年6月6日、東京都中野区の蓮華寺において学祖祭を挙行。当日は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、例年より規模を縮小して関係者のみで執り行いました。



## 「井上円了」その人物像とは

本学には基盤教育科目の「哲学・思想」に自校教育の授業があります。受講した多くの学生は「円了先生が、こんなにすごい人とは知らなかった」と驚き、その人間的魅力に引かれていきます。その一端を覗いてみましょう。



### ◆どんな逆風にも冷静沈着

円了の人生は実はアクシデントの連続でした。のちに円了自身が「三大厄日」と語った事件が以下の3つです。

### 風災

1889(明治22)年、大型台風が来襲し、完成目前の哲学館の新校舎が倒壊。円了はあわてずに指揮をとり、すぐに工事は再開された。

### 火災

1896(明治29)年、隣接する中学校より出火し、哲学館の校舎が全焼。ここでも円了は動じず、校舎の新築・移転を行った。

### 人災

1902(明治35)年、哲学館の倫理学の試験内容と教授法が文部省から不適切とされ、中等教員無試験検定の特典が剥奪された。

どれも大事件ですが、いずれの場合も円了は迅速に行動・対処し、事態を收拾しています。ふだんから冷静沈着で平然と構える、大人物の姿がうかがえます。

### ◆世界各国、日本全国を歩いた、驚愕の行動力

1888(明治21)年、円了は初めての海外視察に旅立ちます。円了はいまよりも海外旅行が大変な時代に、計3回も世界を視察し、世界中で得た最新の知見をもとに教育を行いました。また、円了は日本全国に哲学を普及し、民衆に教育の機会を届けるため、全国巡回講演(巡講)を実施します。これは生涯教育の先駆けでもありました。記録によると晩年の13年間に5,291回の講演を行い、その聴衆は約140万人。現在の市町村の約60%にその足跡が残されています。



### ◆妖怪研究のパイオニア

円了は「妖怪博士」としても有名で、漫画家・水木しげるの著書にも紹介されるほど。全国各地に残る迷信・俗信、超常現象などを「妖怪」と呼び、科学的に解明・打破することを目的に、大系的な研究を行ったのです。その成果は『妖怪学講義』としてまとめられ、明治天皇にも奉呈されました。哲学の伝道者として全国巡講を行った円了ですが、この「妖怪学」は人気の演題でした。このように、研究と教育によって「妖怪」を退治してまわった人物でもありました。





Special Interview OB・OGの今

# Alumni Report

落語家

三遊亭 鬼丸 さんゆうてい おにまる

大学での学びを活かし、  
落語家としてセルフプロデュースしてきた。

大学時代を振り返ってまず思い出すことは、部活動とゼミの2つです。地元の長野から出てきて、何か新しいことを始めようと選んだのがラクロス。当時は創部をしたばかりで、ラクロスというスポーツ自体そこまで知られていなかった。だからこそ、そこに集まったメンバーたちは個性が強く、さまざまな刺激をもらいました。

ゼミでは、マーケティングを研究していました。お世辞にも真面目に勉学に励んだとは言えませんが、ゼミの時間は特別でした。ケーススタディをゼミ生同士で議論する機会が多く、「答えが1つじゃなくていいこと」を考えるのが面白かったですね。

印象深く身につけていることが、マーケティングの「4P（プレイス・プロダクト・プライス・プロモーション）」という考え方。今でも、落語家・三遊亭鬼丸としてのセルフプロモーションに生きています。周りで同じように切磋琢磨する落語家仲間と差別化を図るために、「自分は何をすればいいか?」「鬼丸という商品をどう世の中に売り込むか?」、落語家としての自分とは別にもう1人、商人としての自分が常にいます。そのおかげもあってか、寄席にラジオにと活躍の場は増えています。

4Pの考え方は寄席の舞台にも生きています。自分が出演する寄席には、ラジオをきっかけに見に来てくださる方も多く、初めての方でも分かりやすく面白い演目を意識したり。反対に単独公演では、落語家・三遊亭鬼丸の新たな一面を披露したりと、状況によって自分の見せ方を変えています。この発想があったから今の私があると言っても過言ではないですね。

興味や好奇心を大切に、  
いつまでも、面白い人でいたい。

落語家になって良かったと思うことは、自分の好きなことで生きていけるということ。師匠である3代目・三遊亭圓歌に弟子入りし、落語家として歩み始め、真打に昇進、ラジオ番組がスタート、単独公演も開くことができています。これは決して自分1人の力で成し得たことではなく、周りの方々の支えがあったからこそ。本当に感謝です。

与えてもらったチャンスに対してきちんと結果を提供する。そのために、しっかりと準備して臨む。その繰り返しです。令和元年度「彩の国落語大賞」受賞は、その繰り返しを行った成果だと思います。偉大な先輩方が名を連ねる賞を受けたことは、本当に嬉しいことです。でも、ここで満足してはいけません。70歳を超える先輩方が今でも、若手たちに最近の笑いや流行を食欲に聞いているんです。もっともっと面白い人になりたいですね。いろいろなことを見聞きし、経験して、新たな一面から、もっと笑いを届けていきたい。

だからこそ好奇心や興味をもつことが大切だと思っています。数年前アメリカへ初めて1人旅へ行ったときに大リーグの試合を見て「生まれ変わったらスポーツビジネスの世界で働きたいな」と思うほど素晴らしい感動を得ました。今の時代、ネットに情報が溢れ、「知った気」にはなれます。でも、そこで止めるのは本当にもったいない。情報を体験や経験に変え、自分の価値につなげていくことが何より大切です。40歳を超えてもなお、価値観が変わるほどの体験はできるんです。もしこれが感受性豊かな学生時代だったら、きっとかけがえのない財産となったことでしょう。若いうちにさまざまなことを経験しておくことは価値のあることですよ。



## Profile

1996年、経営学部経営学科卒業。1997年1月三遊亭圓歌に入門し同年5月、初高座を踏む。2010年に真打昇進。2020年3月に、令和元年度「彩の国落語大賞」を受賞。FMラジオ局NACK5で「GOGOMONZ(ゴゴモンズ)」のメインパーソナリティーを務めるなど、ラジオ・TVでも活躍中。



鬼丸さんが語る、落語との出会いや落語の魅力が詰まった特集記事『【動画】初心者でも大丈夫!三遊亭鬼丸さんの「落語のすすめ」』をWebメディア「LINK UP TOYO」にて公開中です。

LINK UP TOYO 検索



NEWS 01

## THEによる2つのランキングが発表

イギリスの高等教育専門誌『Times Higher Education (THE)』では、多角的に大学を評価するさまざまなランキングを発表しています。

### THE世界大学ランキング日本版2020

2020年3月、THEが公開した「世界大学ランキング日本版2020」において、東洋大学は総合64位に選出され、前年の73位から順位を9つ上げました。このランキングは、大学の教育環境や学生の学びの質、成長性に注目し、「教育リソース」「教育充実度」「教育成果」「国際性」の4分野16項目を指標として作成されます。本学では「教育充実度」の項目で全体14位と特に高く評価されました。この項目は在学生と高校教員への評判調査の結果から、どれだけ教育への期待が実現されているかを表しており、本学で学ぶ学生たちに充実した教育を届ける環境が整っていることを証明するかたちになりました。また、「国際性」の分野では全体で31位にランクイン。スーパーグローバル大学として、日本の大学の国際化を牽引する本学の取り組みが評価された結果となります。本学はこの結果に甘んじることなく、さらなる教育環境の拡充に努めていきます。



総合順位	総合スコア	教育リソース	教育充実度	教育成果	国際性
64	55.0	—	79.5 (14位)	48.9	70.7 (31位)

### THE大学インパクトランキング2020

4月には同じくTHEが「大学インパクトランキング2020」を公開。こちらは2019年に新たに創設されたランキングで、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の枠組みを通して、大学の「社会貢献度」を可視化するものです。ジェンダーの平等や健康と福祉などSDGsが掲げる17の目標に合わせて、大学がもたらす社会的・経済的インパクトの尺度を設定。本学は「SDG8:働きがいも経済成長も」、「SDG16:平和と公正をすべての人に」などの項目が評価され、世界中で806機関が参加するなか総合401～600位、国内63大学エントリー中総合20位タイという結果でした。人類が直面する社会問題の解決を目指し、幸せな未来を創り出すSDGsの取り組みは、まず一人ひとりが興味関心を持つことが大切です。本学の取り組みが広く伝わることで在学生のみならず、卒業生や高校生などが社会問題の解決に関心を持つきっかけにつながることを期待しています。そして、未来を生きる学生が学ぶ場所としての責任を持ち、引き続き諸課題への取り組みを推進していきます。



<本学の目標別ランキング>

<b>8</b> 働きがいも経済成長も 	<b>世界</b> 201-300位 <b>国内</b> 12位タイ	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に 	<b>世界</b> 201-300位 <b>国内</b> 7位タイ
<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを 	<b>世界</b> 201-300位 <b>国内</b> 12位タイ	<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう 	<b>世界</b> 201-300位 <b>国内</b> 12位タイ

<b>総合順位</b> <b>世界</b> 401-600位 <b>国内</b> 20位タイ
------------------------------------------------------

※各目標毎にエントリー数、ランクイン数は異なります。

NEWS 02

## 哲学堂公園が国の名勝に指定

本学創立者 井上円了によって創設された哲学堂公園(東京都中野区)が、2020年3月に国の名勝に指定されました。

名勝とは、文化財保護法に基づいて芸術上または観賞上価値が高い公園・庭園や自然の景勝地などを文部科学大臣が文化財として指定するもので、今回国指定名勝となった哲学堂公園は、1904(明治37)年に精神修養や社会教育の場として哲学をモチーフにつくられました。

公園の中心には、哲学の時間空間を表現した場所とされる時空岡があり、東洋哲学から釈迦と孔子、西洋哲学からソクラテスとカントが祀られた四聖堂や聖徳太子や菅原道真など東洋の6人の賢人を祀った六賢台、円了の蔵書を中心とした図書館として設置された絶対城など、ユニークなデザインの古建築物群が存在。園内のいたるところに哲学にちなんだ名称をもつ施設があります。

同月23日には、中野区が制作した映像「国指定名勝 哲学堂公園『井上円了と哲学堂公園～現代を生き抜く哲学のすすめ～』」が公開されました。こちらの映像は、本学ライフデザイン学部の三浦節夫教授が制作協力をして出演しています。ドローンによる空撮映像など、哲学堂公園の魅力をぜひお楽しみください。



国指定名勝 哲学堂公園「井上円了と哲学堂公園～現代を生き抜く哲学のすすめ～」

検索



NEWS 03

## 放鷹による害鳥駆除を白山キャンパスで実施

2020年6月10日、白山キャンパスにて放鷹による害鳥の駆除を行いました。白山キャンパスは、周辺の公園などを餌場とするハトが屋上などに住み着くことがあり、昨年の春頃から鳥糞の被害が報告されていました。今回、害鳥駆除作業を依頼した株式会社GreenField(グリーンフィールド)の担当 江頭さんは、鷹の飼育・訓練を専門とする鷹匠。害鳥が住み着きそうな場所に、訓練した鷹を飛ばして威嚇し、「ここに住み着くことは危険」と認識させて追い払う「放鷹」という手法で駆除をしていただきました。



「鷹による害鳥駆除は、薬剤や超音波を使用した方法とは異なり、周辺環境や人体への影響がなく、また、剣山や防鳥ネットのように外観を損なうこともありません。」と放鷹のメリットを話す江頭さん。駆除作業は2時間程度で、8号館の屋上から害鳥が住み着きそうなポイントに放鷹し、キャンパス近くにハトの溜まり場や餌場がないかも確認していただきました。今後も環境に配慮しながらキャンパスの美化に取り組んでいきます。

## INFORMATION 国による高等教育の修学支援制度(2020年度秋在学採用について)

2020年4月から日本学生支援機構の給付型奨学金と大学による授業料等減免からなる国の経済支援制度が始まりました。支援対象は原則として住民税非課税世帯およびそれに準じる世帯の学部生です。本制度の詳細につきましては文部科学省特設Webページにてご確認ください。2020年度秋在学採用については詳細が判明次第、本学Webページ等でお知らせいたしますので、適宜ご確認くださいませようお願いします。